

平成31年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「話すこと」 事前検証ツールによる環境確認を終えて

これまでに、事前検証ツールによる環境確認や地域別説明会で寄せられた質問事項について、以下のとおり、改めて御連絡いたします。3月18日（月）以降の「話すこと」調査プログラムの展開、そして調査実施に向けて、御確認をお願いします。

<調査前に改めてご確認頂きたいポイント>

◆スクリーンセーバー、スリープモード

事前検証において、調査プログラム作動中に、スクリーンセーバーが起動したり、スリープモードになったりすることがありました。スクリーンセーバーやスリープモードが起動しないようPC端末の設定を変更するなど、ご対応ください。（スクリーンセーバーが起動している間も、調査プログラムは進行してまいります。）

◆キーボード、マウス

今回の調査では、答案番号、整理番号の入力時及び「調査開始」ボタンをクリックする時を除き、キーボードやマウスは使用しません。PC端末の設定によっては、調査プログラム作動中に、何らかのキーを押したり、マウスで画面表示をクリックしたりすることで、調査プログラムが停止、強制終了、画面が変わるなどの支障が生じる場合があります。調査実施中に生徒がキーボードやマウスを不容易に触らないよう、注意してください。

調査マニュアル（39ページ）

◆Windows アップデート

調査実施中に、Windows アップデートやウィルスソフト等のアップデートなどが始まってしまうと、PC処理速度に影響し、正常に録音できないなどの支障が生じる場合があります。設定時間の確認を行い、授業時間中のアップデートは避けるようにしてください。

<地域別説明会における主な質疑>

◆調査実施中のトラブルへの対応

○調査実施直前か、実施中かにより、対応が異なるので留意してください。

①調査実施直前＝「調査開始」ボタンをクリックする前

- ・速やかに別のPCを用いて調査を実施。
- ・PCに予備がない場合は、次の学級で実施、あるいは全学級が終わってから調査実施日中に別途実施。

※やむを得ない理由で、調査実施日中に実施できない場合は、「話すこと」調査のみ、後日実施することも可能です。その場合、生徒が「調査開始」ボタンをクリックしていない（当該生徒の音声ファイルがPCに作成されていない）ことが前提です。一度、生徒が「調査開始」ボタンをクリックした場合は、②の対応となります。

②調査実施中

- ・何らかのトラブルにより調査を中断した場合、調査実施日中に限り、再度、実施することができます。
- ・この場合、同じ答案番号、整理番号を入力し、改めて最初から全ての問題に解答して下さい。

※例えば、1問目が終わったところでPCが動かなくなった場合、改めて調査を受ける場合も、1問目から最終問まですべての問題に解答して下さい。

調査を受け直す場合は、必ず、調査実施日中に行き、他の生徒の音声データとともに、USBに回収して提出してください。 調査マニュアル（56～57ページ）

◆間違っただ場合の言い直し

○間違えた場合は、調査時間内に言い直すことができます。「話すこと」調査の前に、「話すこと」調査担当者が注意事項のひとつとして生徒に伝達することになっています。

調査マニュアル(40ページ)

○採点は、音声データから生徒の解答状況を総合的にとらえて行います。原則として、筆記と同様の考え方にに基づき、短答式は、最後の音声を解答とし、ある程度まとまりのある問題の場合は、音声を総合的に判断して採点します。

調査マニュアル(92ページ:QA55)

◆1学級を複数回に分けて実施することについて

○同一学級の生徒が一斉に調査を実施することが原則ですが、何らかの事情により、1学級を複数回に分けて実施することも可能です(他の生徒との距離を離したい、PCの台数が足りない等)。

調査マニュアル(56ページ)

○この場合も、1時限目の国語、2時限目の数学、3時限目の英語「聞くこと、読むこと、書くこと」までの時間割は変更できません。

調査マニュアル(5ページ)

◆調査中にメモをとることについて

○「話すこと」調査では、メモをとることはできません。

◆USBメモリ2本で音声データを回収することの意味

○生徒の音声データの回収漏れを防止するために、2本のUSBメモリで回収することとしています。昨年5月の予備調査において、一部PCから音声データを回収し忘れるというトラブルが多かったことも踏まえ、確実な音声データ回収をお願いするものです。

調査環境設定マニュアル(45ページ)

調査マニュアル(92ページ:QA57)

◆3年後の調査方法

○今回の調査で必要となるOS等の条件は、あくまで来年度の「話すこと」調査におけるPCの条件であり、国の「平成30年度以降の学校におけるICT環境整備方針」を踏まえた「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」に基づく各学校のICT環境の整備に関して、何ら制約や推奨を設けるものではありません。

なお、3年後の英語「話すこと」調査方法は、平成31年度の「話すこと」調査の検証結果を踏まえ、検討する予定です。